

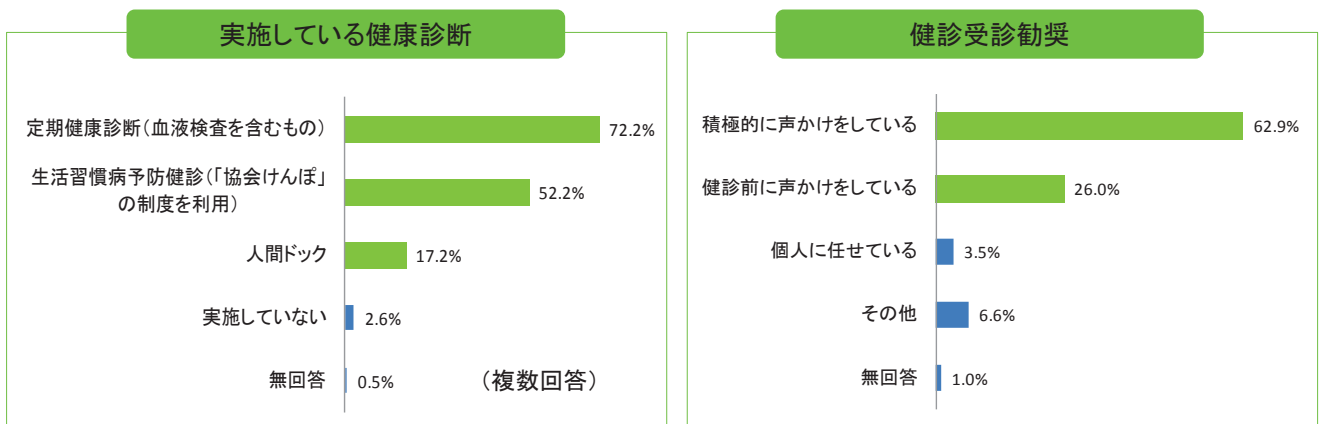
職場での健康づくりに関する調査結果概要

- 1 目的 県内事業所の、職場健診における腎機能検査（クレアチニン検査）及び保健指導の実施状況について調査を行い、今後、職域保健との連携を図るための基礎資料を得ることを目的とした。
- 2 調査対象 県内で15人以上の従業員がいる約1,400事業所（高知県企業データベース）
- 3 調査方法 記名式郵送アンケート調査（事業主又は健康管理担当が記入）
- 4 調査期間 平成26年1月6日～1月31日
- 5 回答数 回答数 935事業所（回収率 67.4%）

慢性腎臓病（CKD）対策への取り組み状況

■健康診断の状況

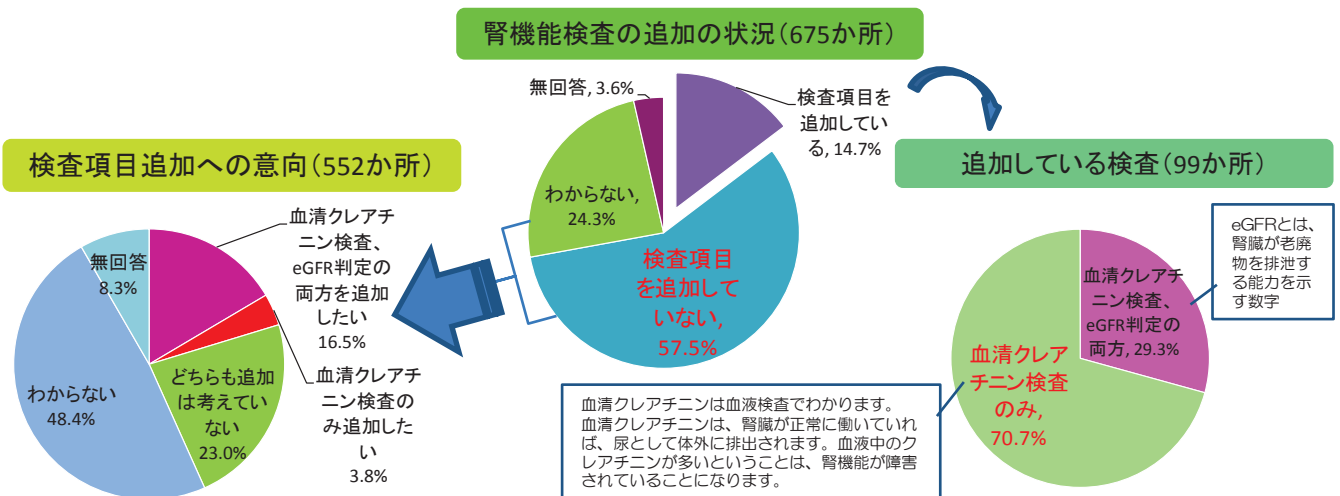
◆健康診断を97%の事業所が実施し、約9割（831事業所）が健診受診の声掛けを行っています。



職場で積極的な受診勧奨をこれからもお願いします。

■腎機能検査の追加状況

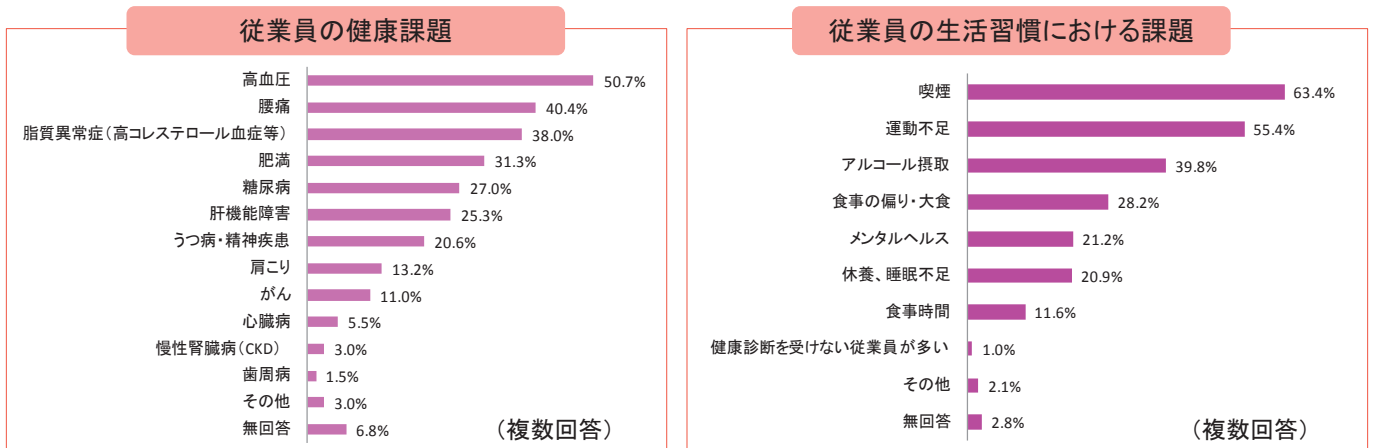
◆定期健康診断に腎臓の機能検査を追加している事業所は15%（99事業所）でした。追加検査は、「血清クレアチニン検査のみ」が約7割（70事業所）で、腎臓からの老廃物を排出する能力を推算したeGFRも追加しているところは約3割（29事業所）でした。また、「追加していない」「わからない」552事業所のうち、約20%が、今後、健康診断の検査項目に追加したいと回答しています。



成人の8人に1人がCKDと言われており、CKDになると心筋梗塞や脳卒中の発症率が3倍になります。早期発見のためには、尿検査に加え血液検査を受けることが重要です。定期健康診断で検査を受けなかった方は、かかりつけ医で検査を受けてみてください。

従業員の健康課題

◆従業員の健康状態の課題として、「高血圧」「腰痛」「脂質異常症」が多く、生活習慣の課題として「喫煙」「運動不足」「アルコール摂取」の回答が多くなっています。職場で協力しあって生活習慣の改善に向けた取り組みが求められます。

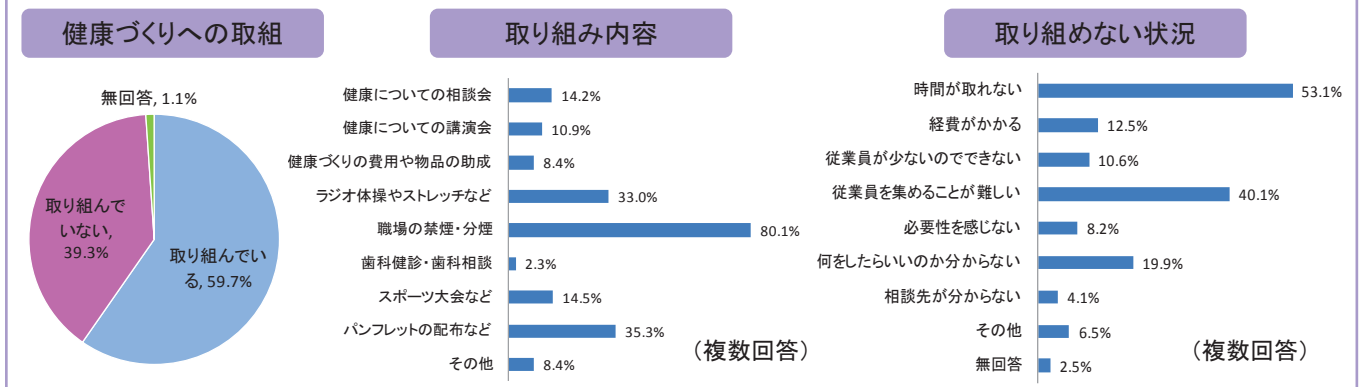


「高血圧」や「脂質異常症」は血管を傷つけ腎臓の機能を低下させます。また、喫煙、運動不足、過度なアルコール摂取もCKDを悪化させます。生活習慣とCKDは深く関係していますので、禁煙、階段を使う、飲酒量を減らすなど、少しでも意識して下さい。

職場での健康づくり

健康づくりへの取組状況

◆従業員の健康づくりに6割(558事業所)が取り組み、その内容は、「職場の禁煙・分煙」が8割と多いですが、相談会や講演会は1割台の回答でした。反対に、取り組んでいない4割(367事業所)からはその理由として「時間が取れない」「従業員を集めることが難しい」があがっています。



健康づくりへの支援ニーズ

◆外部からの支援として、パンフレットの提供や保健指導スタッフの派遣を希望している事業所が多くなっています。

